

□2月21日(土) 大根収穫・漬物作りとグリーンベルト植栽バスツアー

(H26農林水産省フードチェーン食育活動推進事業)

事業主体：一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会 生活協同組合コープおきなわ

受託者：NPO法人 おきなわグリーンネットワーク

当事業は、ファイブ・ア・デイ協会様、生活協同組合コープおきなわ様の共同主催による農林水産省事業「フードチェーン食育活動推進事業」において、県内在住の親子を対象に、宜野座村松田地区での大根の収穫と漬物作り、さらに農地での環境学習と耕土流出防止対策のグリーンベルト植栽をセットにした体験バスツアーです。体験活動を通して、健全な食生活の実践、環境保全に配慮した持続可能な農林水産業への理解と普及を深めるため、当法人がツアーコーディネーターとして受託した事業です。

・参加人数 33人(親子27人、事務局6人)・植栽距離等：農地周り56m・ベチバー225束(千鳥植)



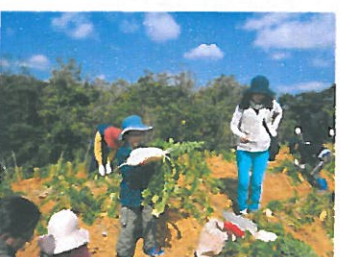
オリエンテーション



グリーンベルト植栽



採れたて大根をその場で試食



お孫さんとの調理体験



親子で調理体験



完成品・採れた大根はお土産

その他の活動実績

□12月18日(木) 久米島町立美崎小学校出前講座

(環境部環境保全課サポート業務、(株)沖縄環境保全研究所委託業務)

●参加人数：久米島町立美崎小学校 4～6年生合同28名

□1月13日(火) 宜野座村立松田小学校出前講座

(環境部環境保全課サポート業務、(株)沖縄環境保全研究所委託業務)

●参加人数：宜野座村立松田小学校 5～6年生合同33名

2015年3月の主な活動予定

□3月4日(水)5日(木) やんばる地域赤土対策プロジェクト現地視察と調整会議

(WWFジャパン共催事業)

●実施場所：東村役場、及び周辺施設

●参加予定人数：東村関係者5名、事務局5名

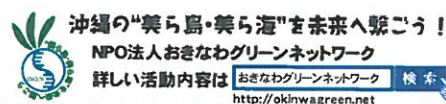
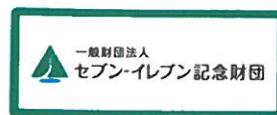
□3月7日(土) 第5回もとぶJr.環境くらぶ (本部町赤土等流出防止対策プロジェクト事業)

●内容：

「本部町の水産業について漁師さんと話そう！活動のまとめとジェルキャンドルづくりをしよう！！」

●実施場所：本部町渡久地漁港、本部町中央公民館

●参加予定人数：20名



NPO法人おきなわグリーンネットワークは沖縄の“美ら島・美ら海”を赤土流出から守る活動を実施しています。

沖縄県那覇市上之屋314-2 サンメディアビル3F

NPO法人おきなわグリーンネットワーク

☎(098)943-3223 fax(098)988-0788

この活動は一般社団法人セブンイレブン記念財団の助成を受けています



“大きな環” VOL.4 2015年3月発行

NPO法人おきなわグリーンネットワーク
活動情報誌

～沖縄の“美ら島・美ら海”を未来へ繋ごう～



Information

- 2014年12月、2015年1月、2月の主な活動の報告
 - ・農業体験やバスツアーの実施
 - ・環境学習及びグリーンベルト植栽活動の実施・・・1～3P
- 2015年3月の主な活動予定
 - ・やんばる地域赤土対策プロジェクト現地視察と調整会議
 - ・環境学習(もとぶJr.環境くらぶ活動)……………3P
- 別添資料
 - ・新聞掲載記事

□12月11日(木)、12日(金) 糸満市立真壁小学校出前講座
 (沖縄県環境部環境保全課 サポート業務 (株) 沖縄環境保全研究所委託業務
 地域の一人一人が赤土等流出問題に関心を持ち、地域や個人単位での活動が活性化し、継続的な活動となる
 よう、地域における問題意識を醸成するための出前講座実施の補助を行いました。
 ・参加人数：糸満市立真壁小学校5年生21名、6年生19名 計40人他



□12月10日(土) 第2回もとぶJr.環境くらぶ (本部町赤土等流出防止対策プロジェクト事業)
 第2回目の活動として実際に赤土に触れて壁掛けシーサーづくりを行いました。赤土は沖縄県の大切な財産
 である事を理解し、河川へ流さないよう保全する事で伝統工芸も守られるという事を学習しました。
 ・参加人数：もとぶJr.環境くらぶ13人、保護者4人、講師3人 (もとぶ南蛮窯Café阿咩：与那覇氏 他2名)



□12月27日(土) 第3回名護市屋我地地区グリーンベルト植栽 (赤土等流出防止対策事業)
 (ろうきん助成金事業)
 第1回～2回に引き続き、名護市屋我地済井出地域において、済井出区長及び地域子ども会、地域の生産者、
 婦人会との協働によるグリーンベルト植栽活動を実施しました。一般財団法人美ら島財団様から地域活動
 貢献賞として、参加者全員にエコクーポン券(美ら海水族館入館引き換え券)を配布していただきました。
 ・参加人数：済井出地域児童29人、地域住民12人、当法人スタッフ2人 (計43人)
 ・植栽距離等：さとうきび農地周り80m、ベチバー400束



□1月10日(土) 第3回もとぶJr.環境くらぶ (本部町赤土等流出防止対策プロジェクト事業)
 本部町内の小学校高学年を対象に「もとぶJr.環境くらぶ」を創設し、第3回目の活動として、本部町の高齢
 者や観光業者(ダイビング)から本部町の生活や産業、自然環境の移り変わり等を聞き、本部町の自然や文化
 の貴重性を理解し、海、川、陸の環境保全に努める事の重要性を学びました。また、赤土で砂絵を作る事で、
 赤土も創意工夫によって、遊び事や作品ができるという事に気付く事ができました。
 ・参加人数：もとぶJr.環境くらぶ11人、保護者2人、講師2人 (田中栄治氏、清水光一氏)



□1月20日(火) やんばる地域赤土対策プロジェクト 現地視察 (WWFジャパン共催事業)
 沖縄県下でも赤土等流出による環境影響が懸念されている東村・大宜味村地域において、地域に適した
 効果的対策が継続するシステムの構築を目指し、WWFジャパンをはじめ、各関係機関と活動を実施しています。
 今回は、地元農家さんや農業環境コーディネーターさんの案内により、現地の視察をしてまいりました。
 ・参加人数：WWF1人、OGN2人、公的研究機関4人、地元農家さん1人、コーディネーター1人 計9人



□2月3日(火) 東村立 東幼小中学校 環境学習とグリーンベルト植栽 (沖縄県環境保全課補助事業)
 沖縄県赤土等流出防止対策基本計画の実現と、環境に配慮する人材の育成、地域協働による持続的な赤土等
 流出防止対策の普及・啓蒙に寄与することを目的として、東村立東幼小中学校(小学5年生、中学1、2年生)
 において環境学習を行い、地域の生産者等の協力の下、「グリーンベルト植栽活動」を実施しました。
 ・参加人数：37人 生徒26人、教員4人、農家1人、JA職員1人、スタッフ5人(東村観光推進協議会3人)
 ・グリーンベルト植栽距離等：パイン農地周り50m・ベチバー500束(千鳥植え)



□2月4日(水) 新潟大学教育学部附属新潟中学校 (沖縄県環境保全課補助事業)
 沖縄県赤土等流出防止対策基本計画の実現と、環境に配慮する人材の育成、地域協働による持続的な赤土等
 流出防止対策の普及・啓蒙に寄与することを目的に、東村民泊事業と連携し、新潟大学教育学部附属新潟中
 学校の修学旅行生と民泊受入れ農家さんと環境学習を実施しました。※植栽活動は悪天候で中止。後日農家さんで500束植栽。
 ・参加人数：45名 生徒30人、引率教師3人、民泊農家8人、東村観光推進協議会2人、スタッフ2人



□2月7日(土) 第4回もとぶJr.環境くらぶ (本部町赤土等流出防止対策プロジェクト事業)
 「もとぶJr.環境くらぶ」を創設し、第4回目の活動として、町内の農家さんに本部町の農業について話をし
 ていただきました。グリーンベルト植栽活動やキャベツの収穫体験をとおして、本部町の農業と自然・環境保全の
 関わりを知り、海、川、陸の環境保全に努める事の重要性を学ぶ事ができました。
 ・参加人数：15名 もとぶJr.環境くらぶ8人、保護者3人、講師1人(兼次貢氏)、補助1人、スタッフ2人
 ・グリーンベルト植栽距離等：キャベツ農地周り25m、ベチバー100束

